

(様式第1号)

平成 29 年 月 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : リハビリテーションに関する領域

科 目 名 : 生活支援のための運動学

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人三重県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 514-0003

三重県津市桜橋 2-131 三重県社会福祉会館 2 階

電話 : 059-264-7741

FAX : 059-264-7742

E-mail : mie_kaifuku@ybb.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (一社) 三重県介護福祉士会 印

申請責任者 : 大田 京子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 29 年 月 日
申請団体名	一般社団法人 三重県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 大田 京子
申請責任者職名	認定介護福祉士養成研修担当
申請責任者氏名	森 聖志
団体住所	〒514-0003 三重県津市桜橋 2-131
同 Tel・Fax	Tel : (059)-(264)-(7741)
メールアドレス	Fax : (059)-(264)-(7742) E-mail:mie_kaifuku@ybb.ne.jp
申請対象の領域	領域名 : リハビリテーションに関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 生活支援のための運動学 (1単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	リハビリテーションに関する領域	
科目名	生活支援のための運動学	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	・介護福祉士として生活支援に必要な運動整理を理解し、支援することができる力を育成する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・筋、骨、関節等の解剖学や、脳、脊髄等の神経学を理解し、支援に活用でき他職種と連携を持つ事ができる。 ・関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用でき他職種と連携を持つ事ができる。 ・日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用でき他職種と連携を持つ事ができる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作） ○運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ○摂食嚥下における解剖・運動生理 	<ul style="list-style-type: none"> ○講義（7時間） <ul style="list-style-type: none"> ・身体表面のランドマークの名称 ・骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ・内部器官の運動時の生理 ・身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作） ・運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ・摂食嚥下における解剖・運動生理 ○事後課題（3時間） 講義内容から4つ以上の項目を選び、介護実践に活かす方法をレポートとしてまとめる（1600字程度）。
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> ■集合研修 ■課題学習 <ul style="list-style-type: none"> ○集合研修講義を行う。 ○課題学習は、事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。 	
研修時間	10時間（集合研修 7時間、課題学習 3時間）	
修了要件	○原則として全課程の出席を要する。やむを得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能	

	<p>とする。</p> <p>○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は再提出を求める。 事後課題の提出が期限内に行われない場合、修了を認めない。</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること。 ・ 修士課程を修了していることが望ましい ・ 日常業務で介護福祉士と共に働いた経験のあるリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・作業療法士等）、または、リハビリテーション科専門医（大学講師以上）が望ましい。
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	特になし
修了評価	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分（遅刻、早退それぞれ15分）を上限として認める。（レポート課題なし）1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>修了評価は以下により行う。</p> <p>①出席状況が修了要件を満たしていること。</p> <p>②演習において、発言内容、他者の意見に対する対応、演習内容の理解力等を講師が評価し、一定以上の基準を満たしていること。</p> <p>③事後課題 学んだことを1600字程度（A4レポート1枚）にまとめる。 この課題の評価がA～Cであること。D評価の場合は再提出を求め、C以上の評価を得なければならない。 採点基準は、文字数、項目数、内容などで判断する。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	40名
開催場所（都道府県）	三重県社会福祉会館（三重県津市桜橋 2-131）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 29 年 10 月 22 日 (日)
	② 平成 30 年 2 月 16 日 (木)
	③
開催場所 (会場)	① 三重県社会福祉会館 (三重県津市)
	② ユマニテク医療福祉大学校 (三重県四日市市)
	③
(2) 講師	
担当, 氏名及び略歴	○関西福祉科学大学保健医療学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻助教 塩津 裕康氏
	担当する講義等 事後課題評価 塩津 裕康氏 (関西福祉科学大学保健医療学部助教) 経歴は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会 (常勤: 1 名, 非常勤: 4 名) 実行委員会事務局 (担当事務局員, 介護福祉士会事務兼務, 常勤 2 名) 研修実行委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し, 担当講師と科目間の連関や留意点について共有する. またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し, 研修内容を評価するとともに, 随時研修の見直しを図る.
研修の企画運営に関する諸 規程	三重県介護福祉士会の定款, 生涯研修委員会の諸規程に準ずる.
研修管理責任者職名	
研修管理責任者氏名	会長 大田 京子
機構問合先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局

機構問合せ先担当者氏名	森 聖志
機構問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
機構問合せ先 e-mailアドレス	mie_kaifuku@ybb.ne.jp
受講問合せ先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
受講問合せ先担当者氏名	森 聖志
受講問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
受講問合せ先 e-mailアドレス	mie_kaifuku@ybb.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	認定介護福祉士養成研修実行委員会
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	大田京子（会長）
管理担当者氏名	長谷川千恵子（担当の事務局員）

別紙 1

認定介護福祉士養成研修時間割表

領域：リハビリテーションに関する領域

科目名：生活支援のための運動学

(1日目) 平成 29 年 10 月 22 日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8 : 30 ~ 9 : 00	
1	○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖生理	9 : 00 ~ 10 : 30	(講義) ・身体表面のランドマークの名称と定義について学ぶ。 ・骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖学・セイル学の基本的知識を学ぶ。
	休憩	10 : 30 ~ 10 : 40	
2	○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識(関節可動域、筋力、運動方向、動作)	10 : 40 ~ 12 : 10	(講義) ・内部器官の運動時の生理を学ぶ。 ・身体運動の基本的知識(関節可動域、筋力、運動の方向、動作)を学ぶ。
	休憩	12 : 10 ~ 13 : 10	
3	○運動の基本的な力学的考え方 (モーメント等) ○接触嚙下における解剖・運動生理	13 : 10 ~ 14 : 20	(講義) ・運動の基本的な力学的考え方 (モーメント) を学ぶ。 ・介護に必要な接触嚙下における解剖・運動生理を学ぶ。
	休憩	14 : 20 ~ 14 : 30	
4	理解度確認試験	14 : 30 ~ 16 : 00	筆記試験 50 問